

## 鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 29 年度第 2 回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	平成 29 年 6 月 23 日（金）13：30～15：00
開催場所	鳥羽マリンターミナル会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 平成 28 年度決算について (2) 平成 29 年度予算（案）について (3) 生活交通確保維持改善計画について (4) 鳥羽市地域公共交通網形成計画（案）について 3. 報告事項 (1) 旅客荷物区間別実績について (2) 三重県総合博物館（Mi e Mu）での展示について
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿（定期航路幹事会） 【資料 3】 平成 28 年度鳥羽市地域公共交通会議決算 【資料 4】 平成 29 年度鳥羽市地域公共交通会議予算（案） 【資料 5】 生活交通確保維持改善計画について 【資料 6】 平成 28 年度旅客荷物区間別実績集計表 【チラシ】 企画展～みんなののりもの大集合～
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
出席委員	山崎委員、世古委員、岩佐氏（清水委員代理）、渥美委員、小久保委員、小寺委員、大峯氏（山下委員代理）、西川委員、木田氏（東川委員代理）、矢田委員
オブザーバー	1 名（中部運輸局 津堅氏）
欠席委員	立花会長
事務局	定期船課 中井事務局長、野呂、大矢
<p><b>1. 開会</b></p> <p>○野呂事務局員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・配布資料の確認</li> </ul> <p>○野呂事務局員</p> <p>    当会議の会長につきましては、6月2日に新たな副市長が就任したことに伴い、市長が当会議の会長として立花新副市長を指名しておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>    本日は、本来の会長である副市長がどうしても外せない公務があり欠席させていただいておりますので、事務局長であります定期船課長が代理で議長をつとめさせていただきます。</p> <p>    それでは、開会にあたりまして、定期船課長の中井からご挨拶を申し上げます。</p> <p>○中井会長代理</p> <p>    みなさん、ご苦勞様でございます。</p> <p>    本日は、地域公共交通会議定期航路幹事会にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>    日頃は、定期航路事業にご理解、ご協力をいただきまして、また、事業の多岐にわたりご支援いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>    課長補佐からの案内の通り、会長となりました立花副市長が本日は公務のため欠席となりましたので、皆様のご理解、ご了承をお願い申し上げます。</p> <p>    また、前回に引き続き、今回も議長を代理というかたちで、務めさせていただきますので、本日もど</p>	

うぞよろしくお願いたします。

- 野呂事務局員  
委員の出欠報告

今日は中部運輸局から津堅係長が出席していただいております。一言ご挨拶いいでしょうか。

(中部運輸局 津堅氏挨拶)

- 野呂事務局員  
ありがとうございます。

### 3. 協議事項

#### (1) 平成28年度鳥羽市地域公共交通会議決算について

- 大矢事務局員  
資料3について説明

- 山崎委員  
適正であるとの監査報告

- 中井会長代理  
事務局からの説明、監査報告をいたしました。何かご質問やご意見はございませんか。

(意見・質問なし)

#### (2) 平成29年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について

- 大矢事務局員  
資料4について説明

- 中井会長代理  
それでは説明のありました平成29年度予算(案)についてご意見、ご質問はありますか。

- 西川委員  
我々の旅費は定期船課から出ているんですね。

- 大矢事務局員  
旅費は市内の方にはお出ししていません。

- 西川委員  
決算報告の中では旅費3名分ということですが、別のものですか。

- 大矢事務局員  
公共交通会議の経費については、鳥羽市の一般会計の方から支出しています。今回報告させていただいたのは、この会議の下部組織として公共交通の利用促進を考える懇談会がありまして、観光関係や近鉄鳥羽駅長に来ていただいて議論いただいております。その懇談会に関する予算ということになります。公共交通会議の予算は別にあります。

(以上で意見なし)

○中井会長代理

それでは、平成29年度地域公共交通会議予算(案)について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

○中井会長代理

ご承認ありがとうございます。

### 協議事項

#### (3) 生活交通確保維持改善計画について

○野呂事務局員

本年度は補助要綱の改正がございます。要綱の改正について津堅さんの方からご説明いただいていいでしょうか。

○津堅氏(中部運輸局)

方向性だけお話をしておきますと、鳥羽市の場合は去年だと国から1億2千万近く収支を埋めるために補助金を出させてもらっています。全国で120航路近く同じような感じで赤字の離島航路がありますので、そこに対して補助金を支出しております。国の財政状況も厳しい中で、どの航路も人口減少で収入が減っていくということで収支が悪化しているんですけど、なんとか収支を改善していただいて、我々としては補助金を出すのは少なくしたい方向で動いています。ただ、燃料の高騰等やむを得ない状況もありますので、その辺はこちらでも最大限努力して支援はさせていただく予定となっております。

要綱改正については、収支が改善している事業者はより補助金が多くでる仕組みに少し変更がありました。収支が悪化している事業者は少し補助金がカットされる場合もあります。そういった補助金要綱の改正がなされたということです。

○野呂事務局員

資料5について説明。

○中井会長代理

それでは事務局から説明のありました生活交通確保維持改善計画についてなにかご意見ご質問はありますか。

○渥美委員

観光の部分で、離島4島を一括してPRしているようなパンフレットはありますか。

○野呂事務局員

観光パンフレットはありますね。鳥羽たびガイドというパンフレットでは全部の離島を紹介しています。定期船課の方でもポケットガイドブックを作成しております、離島すべてを紹介しております。

○渥美委員

個々の島のものはあったのですが、4島を一括したものは、今は発行されていないとホームページに書いてありました。離島航路は4島ですので観光で売っていくのであれば、コンパクトなものでそれらはまとめてPRするようなものがあるといいのかなと思いました。三重県はサミットがありましたので、全体的にインバウンドが増えている傾向があつて。良いのか悪いのか民泊も通りましたのでそのあたりも増えていくと思います。そういうものを意識した対応をされるといいと感じました。

○野呂事務局員

商工会議所ではブルーフィールドに力を入れている。観光協会でもインバウンドにはこれから取り入れると思います。観光部署、関係機関と連携をはかっていきたい。なんとかして利用者の水準を保ちたいと思います。答志町としても情報発信をしており相乗効果を狙えないかなと思います。平成27年度に観光課が神島を限定した観光プランをつくったんですが、全然ダメでした。観光部署とも話をしておりますが、我々としては離島を売り込みたい。できるだけ定期船を利用していただきたい。とはいえなかなか人口減少を止められません。住民基本台帳を見ましても0歳から12歳の人口はかなり落ちていきます。若い人が減って高齢者が増えるというのが見えています。市外の方もですが、市内の方への取り組みもできればと思います。

○西川委員

周遊券について例えば一日で4つの離島を回ってこれるモデルコースがあるといい。数からいくと答志島は、回れる史跡が多いですが他の島もあります。神島の宝物殿はなかなか開けないのですか。

○小久保委員

要請があれば開けます。

○西川委員

神島は、灯台と監的哨はもちろんです。宝物殿の鏡なんかは一見に値するものだと思います。菅島であれば日本最古の灯台であるとか、柘植であるとか、坂手だとあやめ池。何時何分に答志和具に降りて、次に神島や菅島に渡ってという感じで。そのあたりの工夫はできるのではないかなと思います。周遊券も1日で使うのではなく、一泊コースで利用できるとか、そういう風な利用の広がり、利便性を上げるような周遊券を作るとか、プラスPRをするとか。そういうことで人口の目減りを少しでもカバーすることを考えてみたらどうかなと思います。

○野呂事務局員

今、観光客の傾向を見ているとパンフレット、チラシよりSNSなのかなと思う。観光で来られる方は携帯、スマホばかり。情報発信の方法を考えていかなければならない。外国人の方が来るとWiFiを探している。今までと違う観点で事業展開をできるといいなと考えているが、定期航路会計も厳しいので観光部門とも連携して新たな情報発信に取り組んでいきたい。

○西川委員

PRの仕方で、この島にはこんなものがありますよじゃなしに、ピンポイントでこの島行ったらこれがあると、そればかりPRする。それも一見の価値があるという形でのPRをすべきだと思う。

○野呂事務局員

ターミナルに来られる観光客のほとんどが、食を求めている。冬になると桃取の牡蠣。口コミで多くの人が増えている。

○中部運輸局津堅氏

補助金の申請に、今日ご審議いただいている書類は非常に大事。様式2-4 航路損益見込計算書が一番大事ですが、皆さんみていただくと、平成26年から費用はジグザグしていますが、旅客運賃は右肩で下がっています。国の補助金は、一昔前は年間終わったところで欠損額に対して半分補助しますというような制度であったが、今は変わって平成30年度の見込みを鳥羽市で作っていただいて、その数字に対して補助金を出すということになります。一番右側になる数字が一番大事な数字になります。見ていただくと収益は3億1000万。費用は6億。ということで差引が2億9000万。過去みていただくと、収支としては非常に悪い見込みを鳥羽市として作成していることになります。収支の下に三重県と国の補助金額が書いてありまして、平均1億3000万近く出していることになります。その中で損益が3億円ぐらいのかなり悪い見込みとなっていますので、少しお聞きしたいのですが、まず旅

客運賃が2億7000万ということですけど、先ほどからお話になっていました観光客の増加分を見込んでもお下がるという認識でよろしいでしょうか。

○野呂事務局員

まず観光客の実態がどうなのか、わからない面はあります。さらに平成26年からの推移をみますと下がってきています。平成25年が式年遷宮のとんでもない景気があって、平成26年からじわじわ落ちている。定期券販売数が減少傾向にありますのでこのような見込みになるのかなと思います。

○中部運輸局津堅氏

観光客の増加があっても現年を上回ることはないだろうという予測ですね。

次に、費用を見ていただくと船員費が平成28年から比べると5,000万近く上昇している但是这个の要因は何でしょうか。

○野呂事務局員

退職者があります。ちなみに向こう10年で8名の定年退職があります。

○中部運輸局津堅氏

退職金によって、臨時でこれぐらい出るということですね。退職した分を採用しなければならないと思いますが、その辺はいかがですか。

○中井会長代理

退職補充は考えています。

○野呂事務局員

高い給料の方から安い給料の方へ移行することが考えられます。

○中部運輸局津堅氏

将来的には若干船員費は落ちる予測がたっているが、30年度は退職者が見込まれるのでこの額をいれていただいたということですね。船舶修繕費が1,800万伸びていますが、これはきらめきの修繕費が検査もあってかなり増えるということですね。

あと減価償却が500万ほど増えたのは、どういう理由ですか。

○野呂事務局員

しおさいの分ですね。かがやきが今年度で終わりですが、しおさいが始まってきますので。

○中部運輸局津堅氏

これについては、具体的に資料を見せていただいて確認します。

最後に、店費が800万伸びていますが、その要因はなんですか。

○野呂事務局員

運行管理者の退職金が店費になります。

○中部運輸局津堅氏

退職金で上昇したということですね。先ほど確認した船員費はあくまで船員の分ということですね。

○野呂事務局員

定期検査が2つとも年度のちょうど後半なんです。

○中部運輸局津堅氏

次に、様式 2-5 の 3 か年計画ですが、その他の収入の 31 年度、32 年度が空いていますが、記入漏れでしょうか。

○野呂事務局員

すいません。漏れています。3 か年計画の数値についてはなかなか読みきれないところです。

○中部運輸局津堅氏

鳥羽市としては、3 か年は収支率がかなり落ちてくるとみているということでもよろしいでしょうか。こちら先ほど言いましたが、精いっぱい支援をさせていただきますが、無い袖は振れないところがあって、おそらく全体の予算も減っているのです、このままでいくと鳥羽市の持ち出しが増えてしまいますが大丈夫ですか。

○野呂事務局員

3 月の補正予算で定期航路事業の赤字補てんとして繰入金で 2,000 万プラスしました。逆にいうとそれで収まったと言えます。会計的には非常に厳しいです。

○中部運輸局津堅氏

こういう状況になってくると、運賃の話であるとか代替船の話が待たなしの状況に、もう数年後には追い込まれてしまう。三重県の補助金が増えれば問題ないのかもしれませんが、毎年厳しいという話は聞いているので、このままだと非常につらいですね。先ほどお話になった観光に軸足をとっていくのであれば積極的に推進していかないと、離島の減少分を補えるぐらいが一番理想だと思いますが。

○野呂事務局員

一般乗客数が落ちてきています。逆に荷物運賃が微増してきています。インターネット販売というのがありまして、イオンさんを中心に。定期船に乗って買い物に来なくていいという形に変わってきた。

○中部運輸局津堅氏

伸びるところをうまく使えないか。荷物を積極的に伸ばしていくというのも政策の一つですね。

○野呂事務局員

例えば答志航路は 540 円。荷物だと 150 円。やはり荷物よりは旅客の方が収益は見込めます。

○中部運輸局津堅氏

そうですね。今日の議論だけでは難しいと思いますが、いかに収支を改善していくのかという視点に立てば、どういう風に収入を増やすのか、費用を抑えるのかという議論になります。特に船員費が一番大きい項目になります。ただ人材不足もあるのでここを抑えるというのは非常に難しいというのはこちらも百も承知ですが、そこを少しでも抑えればかなり収支は改善する方向になっていくと思いますので。

○野呂事務局員

今の船員の平均年齢が約 43 歳。これからだんだん上がってくる。当然船員費も上がる可能性がある。ですからいかにして収入を増やすかということですね。

○中部運輸局津堅氏

いかにして収入を増やしていくのが課題ですので、委員の皆さんも積極的にお話いただけたらと思います。最後に観光の面ですが、日本語をまったくわからない外国人が、市営定期船に乗ろうと思った場合、アクセスするページはやっぱり定期船のホームページなんですよ。

○矢田委員

観光に見える外国人の方は、定期船課のページではなく、他の英語版、中国語版の観光案内ページを見てきますね。

○中部運輸局津堅氏

それはどっかの会社が作っているんですか。皆さんそれぞればらばらですか。

○矢田委員

そうですね。

○中部運輸局津堅氏

実は国土交通省ではホームページの多言語化を推奨してまして、外国人の方がスマホで見ると、事業者のホームページを見るはずなので、そのホームページが日本語のままだとどうしても分かりません。違うサイトにいつているのか、そのあたりは分かりませんが、他の航路事業者でも取り組みが進んでいるのは、ホームページを多言語化して、そこになおかつ観光のページがうまく張り込んである。そういったこと、ホームページや案内の多言語化も分析、検討していくのもいいかなと思います。

○大矢事務局員

現在、定期船課のホームページは外国語対応にはなっていないですが、鳥羽市の観光ページは外国語対応していると思います。それと鳥羽市公共交通総合時刻表と観光情報が一体となったパンフレットの外国語版に関しては、今年も5カ国語対応したものを作成しますし、ホームページからアクセスできるようになっています。ただ、そこにどうやって繋いでもらうかという問題があります。よく外国人が多く訪れるページからリンクをうまくとれたらなと思います。

○中部運輸局津堅氏

パンフレットも物を作ってしまうとかなり高くなりますけど、ホームページに掲載するだけだとかなり費用を抑えた中で効果が割と高いのではないかなと思います。それに流行りのSNSを連動させるときれいな形になる。富士山の方で航路をやっている事業者では、船上から見える富士山とか最近撮れた写真がホームページ行きたくくなるような仕掛けがしてありますので、そういうのも皆さんのご意見を聞きながらやっていくのもいいのかなと思います。

○野呂事務局員

外国人の方を見ていると、中国人の方はパンフレットを持っていくが、ヨーロッパ系の方は文化的にパンフレットをあまり持っていない。携帯とかタブレットをもって移動している。情報の出し方を変えていかなければならないのかなと思う。関西のリピーターの方は賑やか。情報の多面性をもって情報発信をしていく必要があると思う。

○岩佐氏（清水委員代理）

先ほど、荷物を増やしていくという話がありましたが、各離島の事業者はそれで売り上げが減っているという話を聞きましたので、そちらを重点に置かれると離島の事業者を苦しめることになるのでそのあたりを注意してほしい。

観光と公共交通との連携について、テレビでみさきマグロきっぷというのがあって品川の駅でみさきマグロきっぷを売って、電車に乗って三崎港でマグロを食べる。プラス観光施設にも入れる。そういうお得なチケットがあるというのをやっていた。同じように名古屋駅で離島4島を巡るきっぷみたいなものを売ってもらう。そういうようなことを働きかけることはしていますか。愛知県からの観光客が多いので、そういったところに仕掛けをしていただくと直接こちらまで来ていただけるかなと思う。それに似たようなケースを作っていただけるといいと思います。

○野呂事務局員

近ツアーが、菅島、答志のツアーを展開していただいています。今後も連携していきたい。

○矢田委員

現にまわりゃんせを使ってもらっています。かなりのお客さんが定期船に乗って離島へ行かれます。

○岩佐氏（清水委員代理）

離島で食べさせる仕掛けをしてほしい。

○矢田委員

桃取は、牡蠣のシーズンでは12時の便で、30人、40人、別々のグループで見えている。そういったどこかで美味しいものが食べられるということがありましたら、そのための交通手段として定期船を利用していただいています。

○中井会長代理

また観光部局とも話をしてみます。定期船課だけでできることには限りがありますので。

それでは、計画については先ほどありました数字の抜けている部分等、修正するものとして中部運輸局に提出することにご承認できる方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

○西川委員

承認はしますが、中部運輸局の方が心配しているとおり、このまま提出すると国の補助は確実に減らされる。県の補助も減って鳥羽市の持ち出しがどばっと増える。行きつく先は見えている。

○中井会長代理

このまま3年後ずっと行くということですよ。もちろん航路収入が伸びないと行きつく先はそうなります。今日この場でご討議する話ではないですが、値上げの話とかは将来的には絡んでくると思います。あくまでも30年度の計画としてこのような形で出させていただきますのでよろしく願います。

○野呂事務局員

〆切は6月30日ですね。

○中部運輸局津堅氏

6月30日までに鳥羽の海事事務所に方に出していただく。あとでこちらで内容を見させていただいて、修正点等あればお願いするかもしれません。3か年の計画については、もしかすると修正を。改善するという方向にふれないと、国土交通本省にこの書類をあげて全国の中で審査されるときに問題になる可能性があります。冒頭にも説明したとおり、今回はインセンティブということで、改善する事業者は補助金を上乘せして、改善ができない事業者は補助金をカットするという制度が導入されたばかりですので、これをそのまま見てしまうとそこは修正をお願いする可能性があります。鳥羽市としては現状苦しい、今後も苦しい状況だということはお伝えします。

○野呂事務局員

苦しいけれど頑張りますという計画にしなければならないということですね。

○中部運輸局津堅氏

そういうことですね。

○中井会長代理

それでは、修正して提出させていただきたいと思います。

#### (4) 鳥羽市地域公共交通網形成計画(案)について

○大矢事務局員

鳥羽市地域公共交通網形成計画(案)第2稿について説明  
前回から修正した点を説明

○中井会長代理

午前中のバス幹事会で指摘のあった点を説明

○小久保委員

10pで第2次連携計画を平成25年度から平成27年度まで3か年やって、それを1年間延長したと書いてありますが、※のところは平成24年度からと書いてある。これでいいんですか。

○中井会長代理

第2次連携計画が平成25年度から平成27年度までの3か年の計画ですので、平成25年度からですね。これについては確認をさせてください。他にも影響があると思いますので。

(後で確認したところ第2次連携計画は平成24年から平成27年度までの4か年の計画。

10pの表記は「平成24年度から」の誤り。)

○大矢事務局員

午前中の会議であった意見ですが、個別事業のところでもどうしても行政が受け持つ事業が多い。公共交通会議は公共交通を良くしようというメンバーが集まっている会議なので、各団体が自分たちの団体の公共交通のためにできることがあれば書いていってはどうですかという投げかけがありました。

○中井会長代理

そのあたりも含めて、この計画(案)について、皆さんの方からご意見・ご質問はありますか。

(以上で意見なし)

○中井会長代理

そうしましたら、午前中の会議でも意見をいただいていますので、それらを反映した第三稿を作成して、皆さまのお手元に配布させていただいて、再度網形成計画(案)について今日と同じようにご意見をいただく機会をつくらせていただきたいと思います。それまでも気になる点がありましたら後日定期船課の方にご連絡いただけましたら反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。次回の幹事会は8月の盆前ぐらいになると思います。後日幹事会の開催通知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

### 3. 報告事項

#### (1) 旅客荷物区間別実績について

○大矢事務局員

資料6について説明。

(意見、質問なし)

## (2) 三重県総合博物館 (Mi e Mu) での展示について

### ○大矢事務局員

チラシ～みんなののりもの大集合～について説明

(意見・質問なし)

### ○中井会長代理

事務局からの報告は以上です。そのほか委員の皆様からなにかご質問、ご意見はありますか。

### ○濱口委員

さかのぼっての質問になりますが、資料5の計画について中部運輸局と調整して計画内容を修正するという話がありましたが、修正するという事は重要なことだと思います。ここ3年間の間に何千万も損失が増える。それに対して国から改善するように言われた場合、どういうところを修正すると想定しているのか。

### ○中井会長代理

とりあえず記載漏れは修正させてもらって、それ以外は中部運輸局とお話をさせていただいてということになります。修正版を作成して皆さんのお手元に配布させていただいて、それをもって承諾とさせていただきます。そのような形をとりたいと思います。

### ○濱口委員

6月末はもうまもなくですよ。修正する余地、考える時間はあるのかなと思います。値上げの事も含めて考えてくれと言われたらどうするんですか。

### ○中井会長代理

そうなりますと、市長の政策的な判断もあります。この段階では値上げというファクターは無いことでいきたいと思います。

### ○中部運輸局津堅氏

記入漏れは埋めていただいて、基本的には6月30日に出していただきますが、これよりもちょっと細かい積算の数字を出していただきますので、基本的には合っているかという部分は見させていただきます。大きくこっから削減しなさいという話ではないです。この数字がダイレクトに補助金につながるわけではなくて、この数字がベースで補助金ということです。ただ、おっしゃられた通り私も懸念を持っているんですが、向こう3か年の計画を見てしまうと、非常に収支が悪化する方向になりますので、それについては少し検討することをこちらからお願いするかもしれません。その修正の仕方、合意の仕方は鳥羽市にお任せしますので考えていただければと思います。

### ○野呂事務局員

見込み値は最大でここまでくるかなという風に見ております。もう少し旅客収入が上がればその分まだ改善します。非常に厳しいですが。すべて細かい資料がありますので、それは提出したいと思います。

### ○中部運輸局津堅氏

ここが一番底だという話がありましたが、将来の数字を使って補助金を申請していただいておりますので、実際によかったとしてもそこまで補助金が減ることがないものですから、事業者としては、見込みより良くなるように頑張ってくださいと、より鳥羽市の持ち出しが少なくなりますので、そういう意味においては頑張ってください。

### ○濱口委員

鳥羽市は金がないので頑張ってください。

○野呂事務局員

心配しているのは、油の値上がりと突発的な修繕。ここがなければいいなと思います。あとは収入が安定してくれればと思います。

○中井会長代理

他に何かございませんか。

○野呂事務局長

7月の鳥羽みなと祭りですが、臨時便の案内を7月1日号広報でもさせていただいております。基本的には変わってないですね。

○矢田委員

桃取便だけ少し早めの21時15分に設定してあります。

#### 4. 閉会

○中井課長代理

それでは、これで平成29年度第2回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会の議題について全て終了いたしました。会議の進行を事務局に戻させていただきます。

○野呂事務局員

長時間にわたりご審議ありがとうございました。事項内容はすべて全て終了しました。これをもちまして、平成29年度第2回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会を終了させていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。